

科目名	総合日本語B								
科目名(英)	General Japanese B								
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	小川 剛				
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(1年)1年								
授業概要	自分が持つ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。 また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
		○				対話に必要なコミュニケーション能力を身につけ場合に合わせて適用できる			
		○				学習した表現を段落を構成して話すことに応用できる			
	○	○				日本語能力試験N3~N2レベルの言語知識を理解し、適用することができる			
テキスト・教材 参考図書	できる日本語教材開発プロジェクト『できる日本語初中級本冊』アルク 2012年 できる日本語教材開発プロジェクト『できる日本語中級本冊』アルク 2013年 ことば・表現ワークブック								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1~4	11課 地域社会の中で:地域の人に、最近の生活や困っていることについて話したり、地域の活動に参加したりできる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	5~8	12課 私の健康法:健康を維持するための方法や体調がよくないときの対処法について、周囲の人と情報を交換することができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	9~12	13課 親の気持ち・子の気持ち:テレビや街中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、自分の経験を話したりできる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	13~16	14課 イベント・行事:周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	17~20	15課 気になるニュース:気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	21~24	初級文法の復習(形容詞の活用・動詞の活用)					テキストの練習問題をやること(1時間)		
	25~28	初級文法の復習(条件形・授受動詞・受身・使役受身・敬語)					テキストの練習問題をやること(1時間)		
	29~32	初級文法の復習(自動詞・他動詞、意思動詞・無意思動詞)					テキストの練習問題をやること(1時間)		
	33~36	L1 新たな出会い:新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	37~40	L2 買い物:周りからいろいろな情報を得たり、自分の希望を伝えたりして、満足のいく食事や買い物をすることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	41~44	L3 時間を生かす:これからの自分にとって有意義な過ごし方を考え、生活の工夫や時間の使い方などの情報をやりとりすることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	45~48	L4 地域を知って生活する:地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	49~52	L5 緊急事態!:予期しないことが起きたとき、適切な行動を取ることができる。また、緊急事態を経験したことについて話すことができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
	53~56	L6 地図を広げる:ふるさとや住んだことがある場所の地理や気候に合わせた生活を紹介して、お互いの理解を深めることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)		
57~60	L7 時代を超えた交流:異なる背景を持つ人々との交流を通して自分の視野を広げることができる。					新語の意味を調べておく。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	○	○				50%		
小テスト	○	○				50%			
履修上の注意									

科目名	日本語試験対策B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	JLPT N2対策として、読解を中心に授業を行う。N2レベルの文章の内容理解、概要把握、情報検索などのスキルを身に付ける。 JLPT N2合格を目標とする。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N2レベルの文章の内容が理解でき正しい答えが選択できる	
	○	○				文章の構成や接続、文末表現、キーワードなどが区別でき、大意をとらえることができる	
	○	○				問われていることに対し、必要な情報を効率よく選択でき読み取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木 仁子, 松本 紀子 『日本語総まとめN2読解』 アスク 2010						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	日本語総まとめN2読解 意見文①②				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	3~4	日本語総まとめN2読解 意見文③④				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	5~6	日本語総まとめN2読解 説明文①②				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	7~8	日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式)				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	9~10	日本語総まとめN2読解 論説文①②				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	11~12	日本語総まとめN2読解 論説文③④				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	13~14	日本語総まとめN2読解 論説文⑤⑥				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	15~16	日本語総まとめN2読解 第6週実戦問題(テスト形式)				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
	17~18	模擬試験				間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)	
19~20	期末テスト(模擬試験)						
評価方法	(1)小テスト (2)定期試験 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○			○	50%
履修上の注意							

科目名	会話B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	自分もつ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話が適用できる	
	○					対人関係や物事の処理をスムーズに運ぶために役立つ日本事情を理解し述べるができる	
	○			○		面接試験やビジネスに対応できる敬語を正しく使いコミュニケーションできる	
テキスト・教材 参考図書	加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY 日本語で話す6週間』 凡人社 2012						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Unit 12 意見を言う				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	2	Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	3	Unit 14 失敗談を話す				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	4	Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	5	Unit 16 うれしかった思い出を話す				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	6	Unit 17 赤いセーターを着ている人は誰ですか				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	7	Unit 18 謝る				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	8	Unit 19 相手に忠告する				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	9	Unit 20 電話をする				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	10	Unit 21 状況を聞く・答える				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	11	Unit 22 日本を来てから変わったことについて話す				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	12	Unit 23 好きな場所を紹介する				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	13	Unit 24 経験に基づいてアドバイスする				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	14	Unit 25 相手に苦情・文句を言う				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
	15	Unit 30 問い合わせる				テーマ関連語彙を調べておく。テーマに関する今までの自分の経験を考えちえおく(1時間)	
評価方法	(1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)定期試験(口頭) 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	会話作成・発表	○	○		○		50%
	定期試験	○	○			○	50%
履修上の注意							

科目名	聴解B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	JLPT N2レベルの語彙・表現を理解し、聴解力を伸ばす。JLPT N2の合格するための聴解スキルとストラテジーを身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				キーワードを聞き取り、全体の内容予測できる。	
	○	○				設問を聞いて、必要な情報を意識して聞き取り適当な答えを選択できる	
	○	○				聞き取った話の構成、要点を理解し、口頭で述べることができる	
					○	自分に足りない聞き取れなかった語彙、表現を自ら調べることができる	
テキスト・教材 参考図書	西隈 俊哉,坂本 勝信,伊東 克洋,鈴木 加珠子,相場 康子『パターン別徹底ドリル日本語能力試験N2』アルク 2010						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	JLPT N2 課題理解・概要理解① 即時応答①				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	2	JLPT N2 ポイント理解・統合理解① 即時応答②				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	3	JLPT N2 課題理解・概要理解② 即時応答③				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	4	JLPT N2 ポイント理解・統合理解② 即時応答④				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	5	JLPT N2 課題理解・概要理解③ 即時応答⑤				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	6	JLPT N2 ポイント理解・統合理解③ 即時応答①②復習				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	7	JLPT N2 課題理解・概要理解④ 即時応答③④復習				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	8	JLPT N2 ポイント理解・統合理解④ 即時応答⑤復習				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	9	JLPT N2 概要理解・統合理解⑤ 聴解必修パターン即時応答				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	10	弱点補強				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	11	模擬試験				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	12	弱点補強				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	13	日本語総まとめ聴解N2 会話表現・気象情報				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	14	後期復習・期末テスト対策				聞き取れなかった語彙の読み確認・意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
15	期末テスト						
評価方法	(1)小テスト (2)定期試験 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○			○	50%
履修上の注意							

科目名	作文B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	前期で学んだ表現を使って書き言葉で作文を書くことができる。さらに、作文で書いたことを口頭で分かりやすくクラスメートに紹介できる。後半はテーマを決めて、グループで調べ、資料を作成し、発表できるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		生活の場面や、フォーマルな場面において、自分自身のことを日本語で説明できる	
	○					自分の国や家族などを説明するのに必要な語いを正しく使し述べることができる	
		○		○		グループ別で会話をしながら、テーマを決めて、プレゼンテーションに参加できる	
テキスト・教材 参考図書	門脇 薫, 西馬 薫 『やさしい作文第2版』スリーエーネットワーク 2014 C&P日本語教育・教材研究会『日本語作文I』専門教育出版 1988						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	私の趣味				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	2	私の趣味(発表)				発表原稿を作文用紙に書く(30分)	
	3	国との比較				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	4	国との比較(発表)				発表原稿を作文用紙に書く(30分)	
	5	私の国の有名人				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	6	私の国の有名人(発表)				発表原稿を作文用紙に書く(30分)	
	7	将来の計画				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	8	将来の計画(発表)				発表原稿を作文用紙に書く(30分)	
	9	グループ分け・テーマ決め				発表原稿を作文用紙に書く(30分)	
	10	調べ学習①				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	11	調べ学習②				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	12	調べ学習③				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	13	調べ学習④				次回のテーマの作文メモを作成する(30分)	
	14	リハーサル				発表のリハーサル	
	15	発表				発表	
評価方法	(1) 宿題・作文の提出 (2) 毎回のプレゼンテーション(内容・発音・態度) 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・作文	○	○				50%
	プレゼンテーション	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解B						
科目名(英)	Japanese Reading B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本語能力試験N2読解では、幅広い話題について書かれた文章の内容や表現、意図を理解する読解力が求められる。この講義では文章理解の基礎となる接続表現、指示語、機能語などのポイントをおさえながら、文章構造を理解し内容把握ができるようにしていく。又、日本語能力試験では様々な文章が出題される。実際の試験と同様の形式の問題を多く読み、文章を読む前の内容予測や読んだ後の正確な解答方法を身につけられるような読み方を訓練する。						
授業形式	講義: <input type="checkbox"/> △	演習: <input type="checkbox"/> ○	実習: <input type="checkbox"/>	実技: <input type="checkbox"/>	※ 主たる方法: <input type="checkbox"/> ○ その他: <input type="checkbox"/> △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ○				様々な種類の文章を正確に読み、内容把握ができる	
					<input type="checkbox"/> ○	問題の形式に対応できる	
テキスト・教材 参考図書	田代 ひとみ, 初鹿野 阿れ, 清水 知子, 福岡 理恵子, 中村 則子『新完全マスター読解N2』スリーエーネットワーク 2011						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	文章の仕組み 1)対比			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	2	文章の仕組み 2)言い換え			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	3	文章の仕組み 3)比喩			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	4	文章の仕組み 4)疑問提示文			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	5	文章の仕組み 5)主張表現			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	6	問いを解く技術 1)指示語			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	7	問いを解く技術 2)「だれが」「何が」「ナ何を」			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	8	問いを解く技術 3)下線部の意味			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	9	問いを解く技術 4)理由			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	10	問いを解く技術 5)例			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	11	実践問題 1)内容理解			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	12	実践問題 2)主張理解			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	13	実践問題 3)統合理解			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	14	実践問題 4)情報検索			わからなかった語彙の意味調べ・音読 語彙ノート作り(1時間)		
	15	模擬テスト					
評価方法	(1)小テスト (2)定期試験 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ○				50%
	小テスト					<input type="checkbox"/> ○	50%
履修上の注意	辞書を使わないで、内容を推測しながら文章が読み進められるようにしましょう。						

科目名	文字語彙B						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常生活に加え、新聞やテレビのニュースなどで扱われる語彙を身につける。また、日本語能力試験N2に合格できるレベルの言語知識を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N2レベルの漢字を読み意味の説明ができる	
	○	○				正しい語彙を選択することができる	
	○	○		○		語彙・表現を正しく、積極的にコミュニケーションに応用することができる	
テキスト・教材 参考図書	中島 智子,高橋 尚子,松本 知恵『N2語彙スピードマスター』Jリサーチ出版 2011						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	N2語彙スピードマスター 1-4				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	3~4	N2語彙スピードマスター 5-8				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	5~6	N2語彙スピードマスター 9-12				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	7~8	N2語彙スピードマスター 13-16				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	9~10	N2語彙スピードマスター 17-20				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	11~12	N2語彙スピードマスター 21-24				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	13~14	N2語彙スピードマスター 25-28				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	15~16	N2語彙スピードマスター 29-32				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	17~18	N2語彙スピードマスター 33-36				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	19~20	N2語彙スピードマスター 37-40				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	21~22	N2語彙スピードマスター 41-44				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	23~24	N2語彙スピードマスター 45、模擬①-③				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	25~26	総復習				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
	27~28	総復習				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)	
29~30	総復習				復習し、初見の語彙の意味調べ 自分の語彙ノート作り(1時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	発表	○	○		○		50%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 ・毎回確認テストを行いますので、復習を必ずすること。 						

科目名	文法B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を、形や接続が似ている文型といっしょに学ぶ。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現を適用できる	
	○	○				習得した文法を使い、コミュニケーションを工夫することができる	
	○	○				N2レベルの習得に必要な知識を身につけ意味の差異を区別できる	
テキスト・教材 参考図書	佐々木 仁子,松本 紀子 『日本語総まとめN2文法』 アスク 2010 星野 恵子,辻 和子 『ドリル&ドリルN2文法』 ユニコム 2010						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	N2文法: ~げ・~がち・~つばい・~気味・~ものなら・~ものだから・~もの・~ものの・~はもとより・~も・~はともかく・~は				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	2	N2文法: ~でたまらない・~しょうがない・~かなわない・~ならない・~ないことは(も)ない・~ないでは(ず)に~られない				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	3	N2文法: かいがあつて・かいもなく・~がい・~てまで・~かける・~切る・~える(うる)・~抜く・~うちに・~ないかのうちに・~限り				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	4	N2文法: ~さえ・~からこそ・~でこそ・~ばかりだ・~に(と)したら・~としても・~を・~として・~とともに・~にともなって・~につれて				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	5	N2文法: ~とおり・~まさに・~ことに・~あまり・~わけだ・わけではない・わけがない・わけにはいかない・~たとたん・あげく・末				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	6	N2文法: ところどころではない・ところか・だらけ・たぎり・つばなし・一方だ・に反して・反面				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	7	N2文法: 上・上で・上は・の上では・向け・次第で・次第・次第です・~に~に応じて・対して・により・にかかわって				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	8	N2文法: ~ながら・つつ・つつある・くせして・べきではない・ざるをえない・ことになっている・にすぎない・にあたり・に沿って・に先立ち				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	9	N2文法: ~っこない・かねない・かねる・がたい・~ことから・のことだから・ことなく・ないことには・~ない・後に決まった表現がくる副詞				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	10	N2文法: ~だけあって・ばかりか・ばかりに・ではないか・ようがない・かのようだ・そうにない・~に際して・基づいて・~に応じて・~のもので				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	11	N2文法: ~て以来・以上・~てからでない・~にかけては・~とは限らない・~よりほかはない・~をめぐって・において				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	12	N2文法: にもかかわらず・を問わず・につき・をきっかけに・接続詞				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	13	ドリル第1回: ばかりいると/ことには/がたい/ともなって/までもない/からには/うちに 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	14	ドリル第2回: して以来/からいえば/につけ/以上/がてら/はおろか/ことなく/つつある 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	15	ドリル第3回: ぐらい/て当然だ/にすぎない/とはいへ/ざるを得ない/ことだ/一方だ 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	16	ドリル第4回: において/ありえない/のもかまわず/につけては/のあまり/上に 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	17	ドリル第5回: ものなら/かねた/にこたえて/ものです/折に/かいがあつて 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	18	ドリル第6回: ついでに/ことのない/べきだ/のみならず/たならない/してまで 等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
	19	ドリル第7回: 見ないことには/上で/に限らず/につけ/ばかりか/よければ/は抜きで等				予習・復習をしましょう。(1時間)	
20	ドリル第8回: 一方/にかかわらず/させられて/ながらも/ものを/かねます/限り 等				予習・復習をしましょう。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○			○	50%
履修上の注意							

科目名	日本事情						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本の社会や文化について基本的な知識を身に付け、日本や日本人を理解する一助とする。自国との違いやその背景を考え、多文化理解につなげる。日本独自の文化的な活動を体験しながら学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本独自の文化の背景にあるものについて考え、調べることができる	
				○		日本独自の文化的な活動に積極的に取り組むことができる	
	○	○		○		考え方や視点の相違を認め、意見を傾聴し、多角的に物事を見て相手に配慮できる	
テキスト・教材 参考図書	「日本事情」プロジェクト『話そう考えよう初級日本事情』スリーエーネットワーク 2009 金津日出美, 桂島宣弘, アジアにおける日本研究ゼミナール 『留学生のための日本事情入門』 文理閣 2017						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	今年の新語・流行語				宿題レポートを仕上げること(1時間)	
	2	今年の漢字・年賀状を書こう				宿題レポートを仕上げること(1時間)	
	3	日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」				宿題レポートを仕上げること(1時間)	
	4	日本の産業構造② AI				宿題レポートを仕上げること(1時間)	
	5	まとめのレポート作成				宿題レポートを仕上げること(1時間)	
	6	陶芸					
	7	茶道					
	8	期末試験					
評価方法	(1)レポート 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	○	○		○		50%
							50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。提出物を必ず提出すること						

科目名	ディスカッション&ディベート						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	より実践的な日本語コミュニケーション能力を身に付けるためディベート形式での討論を行う。ディベートのルール、論旨の建て方、反駁の仕方などを学んだ後、講義ごとに設定されるテーマに基づいてチームに分かれてディベートを行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身近なトピックでの討論の場において、自らの考えを整理し論理性と説得力をもって述べるができる。	
			○			相手の意見にうまく賛成や反対の意思を伝えることで、円滑に討論・ディベートに参加することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて					
	2	意見展開・情報収集について					
	3	質問・反駁のしかたについて			次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)		
	4	ディスカッション実践「日本の文化・習慣」			次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)		
	5	ディスカッション実践「大切なもの」			次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)		
	6	ディベート実践「教育」			次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)		
	7	ディベート実践「働き方」			次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)		
	8	ディベート実践「科学技術」			振り返りレポートの作成(1時間)		
9							
評価方法	(1) 課題をこなし、準備の上、各回の講義に臨んでいるか(50%)、(2) 各回の講義で積極的に討論・ディベートに参加し、講義中に紹介される表現技法を用いて効果的に発言できているか(50%)、の2点により評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	事前準備	○	○				50%
	参加・発言				○		50%
履修上の注意	参加回数が6回に満たない場合は成績・評価の対象とならない。						